



やすひさの瓦版 (第92号)

2012年 6 月12日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久
〒790-0003 松山市三番町4-7-19
TEL089(941)4843 FAX089(941)4894

Home-page <http://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail shiozaki@y-shiozaki.or.jp

「総理主導」から「国民主導」の日本へ

民主党の「政治主導」が迷走し、国民の失望は日に日に高まっています。そもそも「政治主導」とは、これまでの官僚依存、政官癒着を断ち切るとの名目で提唱されていたものですが、いつの間にか、原発再稼働に際しての「総理が原発の安全性を政治判断する」といった、独善・専横の元凶にも変化してきています。

「総理が全てを決める」の恐怖が国民の眼前に迫ったのが、3.11の原発事故の対応でした。当時の菅総理は官邸から直接指示を発し、原発からの排気（ベント）を遅らせたばかりか、原子炉の冷却のための海水注入についても遅らせた問題視されています。現場の所長の判断で海水注入は続行されたため、最悪の事態は避けられたものの、国家の命運を大きく揺さぶった一瞬でした。

折しも、日銀の金融政策を政府の支配下に置くべきとの議論も国会では盛んになっています。総理を頂く政府が日銀の独立性を奪い、デフレと円高を阻止するのが国益にかなうという議論。これも政治主導のなれの果ての議論と言えるでしょう。

「自分は責任を取りたくない。責任は『お上』に」という日本人の発想が、この「総理主導」の議論を生んでいます。私が法案の作成者、提出者となった「原子力規制委員会法案」でも、

➤ 原子炉の緊急措置については、技術的専門家ではなく総理が最終決断すべきとの声が強くありました。「国家の命運を最後に担うのは、総理において他にない」、というのです。

原子炉の安全確保策も、金融政策も、高度に専門的技術や知識が必要であり、かつ国民の生活と安全に直結する重要な施策です。総理交代ごとに変わったり、また選挙目的で右往左往したりしていいものではありません。海外を見ても、原子力規制や中央銀行の独立性を厳格に確保しているのが、いわば先進国たる前提です。日本だけ、何故逆行する議論になるのでしょうか。

「国家の命運」を担っているのは総理だけではありません。国民も皆で背負うべきものでしょう。「お上」が一極的に責任と支配を担うのではなく、国民が皆で、各々の分野の専門家、第一人者が責任感と使命感を持ち、各々の分野の責任を共有する。そういう国家へ、日本は今こそ脱皮しなければなりません。

原子力のみならず、国民生活全般の安心と安全のため、引き続き国会で全身全霊を尽くして頑張りたいと思います。皆さまのご指導ご支援を、何卒よろしくお願いいたします。



「ビートたけしのTVタックル」に出演。電気料金の値上げや消費増税法案の行方など、今回も活発に議論。

(5/28)



衆議院本会議で原子力規制委員会法案の趣旨説明、代表質問を行う。新しい原子力規制機関は、「3条委員会」と、他の省庁や政治圧力から権限、人事および予算の独立性が与えられ、専門技術的な規制が行える体制とすべきこと等を主張する。(5/29、衆議院本会議場)

「やすひさ」が行く、見る、聞く



興居島泊地区の文化祭開催。地域の方の出し物や出店に、興居島の皆さんのみならず、周辺地域からも沢山の人が訪れて賑わっていました。
(5/27、旧泊小跡)



地域の運動会に参加。私も借り物競走に出場し1着でゴール！
(5/13、坂本小学校)



恒例の更生保護施設雄郡寮のガレージセール開催。松山地区更生保護女性会のみなさんと一緒に。
(6/3、松山)



今年も松山市民サイクリング大会が開催され、多くの参加者で賑わいました。
(6/3、松山・堀之内公園)



暮らしの対話集会



松山地域各地で「暮らしの対話ミニ集会」を開催。暮らしに根差した多くの貴重なご意見を頂く。皆さんのお声を国政に届けるべく、なお一層努力して参ります。

～ あなたの声を政策に ～ 参加者大募集 !!

塩崎やすひさはテーマ別プロジェクトならびに“暮らしの対話ミニ集会”を実施しております。みなさんの「生の声」をぜひお聞かせ下さい。

連絡先：塩崎恭久 089-941-4843(望月・岡)

責任ある原子力政策を！



自公共同提案で、「原子力規制委員会法案」を国会へ提出。IAEA安全基準に則った新しい原子力規制組織を、い

わゆる「3条委員会」として設置し、「権限」、「予算」、「人事」において独立性を法的に担保。「他の行政」及び「政治」からも独立。
(4/20、衆・事務総長室)

衆・環境委員会にて、原子力規制委員会法案の審議入り。自公で共同提出した議



員立法の答弁を行うと共に、政府案に対しても質問をする。緊急時の総理の指示権のありかた等、本源的な議論を行う。
(6/5、衆議院)

父、塩崎潤を 偲ぶ会



後援会主催で父、塩崎潤の偲ぶ会を開催して頂く。ご参席いただいた皆様と父、潤との思い出話に花を咲かせました。父が生前、皆様から頂きましたご厚情に改めて感謝です。
(5/19、松山)



「TPP から日本の食と暮らし・いのちを守り政府の交渉参加表明を阻止する国民集会」に参加するため上京された、県下JAの皆さんと意見交換会。
(4/25、衆・第一議員会館)



安倍元総理、遠藤利明議員らとともにミャンマーのテイン・セイン大統領を表敬。大統領とは今年1月「アジアの子どもたちに学校をつくる議員の会」で渡航以来の再会
(4/23、東京)

? 「3条委員会」って、な～に!?

3条委員会とは、主として国家行政組織法第3条に定める制度で、戦後、官僚制を打破するという意味での行政の民主化が強く意識された際に導入。独立行政委員会とも言う。代表的な例は、国家公安委員会、公正取引委員会など。通常の「省」「庁」と異なり、合議制で意思決定を独立して行う。国会同意人事等により政治的中立性も確保。